

非木材紙とは

「非木材紙」は、針葉樹および広葉樹以外の植物繊維を原料としてつくられています。非木材紙を利用することは、森林の過剰伐採を軽減することにつながりますので、環境配慮の取組みを個性的にPRしたい方におすすめです。また、非木材紙は、木材紙にはない独特な肌合いを持った種類が多いことも魅力です。便箋や卓上カレンダー、包装紙のほか、学園祭やイベントの容器トレイや紙コップに使用されるなど、様々な用途、場面で活躍しています。

竹



強い繁殖力を持つ竹は、周囲の里山や森林を侵食し、地すべりなどの災害を引き起こすとされています。そのため、放置された竹林の拡大は全国的な問題になっています。竹を有効活用することは、放置された竹林の問題解決につながります。

竹を使う効果 イメージ



里地里山の環境保全



地域社会への経済効果

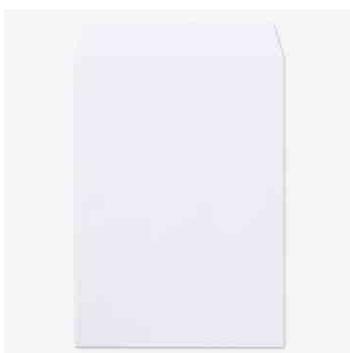


地球温暖化の抑制

取扱商品 価格等、お気軽にお問い合わせください。



長3 竹封筒



角2 竹封筒



竹紙カット紙

販売商品

金陽社+満津金×竹 「京橋の記憶」

金陽社印刷所は東京・京橋に1931(昭和6)年に創業して以来、今年3月で90年を迎えました。

このたび創業の地に実存した京橋竹河岸を画題にした記念の封筒<京橋にゆかりの深い「竹」で作った竹封筒>を創業90年の節目に発売を開始いたします。

江戸時代、京橋川沿いには江戸最大の「京橋竹がし」と「京橋大根がし」という二つの市場がありました。文字どおり竹を商う市場が「京橋竹がし」、花が咲いているかのように大根が市場内にたくさん荷揚げされていた青物市場が「京橋大根がし」。二つの市場は関東大震災で大きな被害を受けましたが、江戸・明治・大正・昭和初期まで庶民の台所として大変な賑わいを見せていました。

江戸以来の町 京橋には現在、「京橋竹河岸通り」と「京橋大根河岸通り」という道路標識となってその記憶が刻まれています。

金陽社では京橋にゆかりのある「竹がし」の記憶を、「竹」で作った「竹封筒」で後世に伝えていきたいと考えています。

また「竹封筒の消費を実践することで、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」へ貢献することができます。

昔懐かしい「竹」のイラストを描いたパッケージの中に「竹封筒」を10枚セットし「京橋の記憶」シリーズとして販売いたします。



定価500円 税込 (付録に一筆箋を10枚入れました)